



とがみ

「やさしく かしく たくましく」

山形市立滝山小学校

学校だより 第3号

令和7年7月29日

みんなが笑顔の滝山小を目指して(1学期振り返り)

1学期(78日)が終了しました。本校が目指す子ども像に照らしながら振り返ってみたいと思います。

＜互いを認め、相手を思いやる子＞

お互いを認め合うことの第一歩はまず挨拶を交わすことではないでしょうか。朝教室を回ると、どの学年も元気な挨拶が返ってきます。私自身気持ちよく1日をスタートすることができました。

クラス替えがあるため、年度当初は慣れるまで、友達関係等で悩む場面も見られますが、相互理解が進むと相手のよさを認め合える関係になり、落ち着いてくることが多いようです。

一方、対人関係による事案も何件もあり、該当の子どもたちから話を聞き対応しました。考えさせるところと指導することを意識しながら、校内で情報共有し組織的に対応しました。こうした事案は、人間関係を築く大事な学習の場面でもあります。保護者の皆様とも情報共有いたしますので、今後とも冷静なご対応をお願いいたします。

＜「きき」合い、伝え合いながら考える子＞

様々な場面において相手の話を聴こうとする態度が、どの学年も身に付いていると感じています。運動会や避難訓練のような大人数で集まる場面でも、全員が集中して聴こうとする姿に感心しました。また、授業はもちろん、委員会活動や運動会の話し合いでも、課題について真剣に考え、話し合うことができています。学校全体の姿として定着していることはとてもいいことだと思っています。

＜くめあてをもち、あきらめず挑戦する子＞

それぞれの発達段階に応じ、子どもたちが自分たちの目指す姿を考え、振り返りながらよりよい姿をめざしていました。なかなか思い通りにいかない場面もあったようですが、担任が「出と待ち」を意識しながら、根気強く指導・支援・応援を行っています。「あきらめず挑戦する」ことを今後も大切にしたいと思います。

◎余談ですが…

7/14山形市教育委員会の計画訪問がありました。金沢教育長様はじめ教育委員の皆様から、「子どもたちと先生方がいい表情で授業をしている。」等、お褒めの言葉をいただきました。授業通覧では若干緊張している印象を受けましたが、いつもと変わらない様子を見ていただきました。本校の子どもたちや教職員が褒められるのはやはりうれしいものです。

父母と教師の会の活動について

今年度は荒井会長様や事務局、常任委員の皆様を中心に組織や活動の見直しに取り組んでいます。会員の皆様からアンケートへご協力いただき、実態や意見、想いを把握しながら丁寧に進めていただいております。

これまでの伝統的に取り組んできた活動について、現状や今後を見通しながら建設的な議論を進め、よりよい活動になるよう今後もよろしくお願いいたします。

また、1学期は資源回収や学年行事、球技大会等、様々な活動を実施していただきました。計画や準備等皆様のご協力、誠にありがとうございました。



6/21 資源回収



7/2 1年防災学習